

## 平成28年度入試【推薦入試Ⅰ】問題

### 小論文

(生物資源科学部 地域環境科学科)

#### 注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は2ページである。解答用紙は4枚、下書き用紙は2枚である。指示があつてから確認し、~~解答用紙~~、下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙及び下書き用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

次の課題1、課題2の両方に解答しなさい。なお、必ず課題ごとに指定された解答用紙の所定のところに解答を記入すること。

下書き用紙は解答の下書き、アイデアのメモ、レイアウト、文章の構成等、裏面を含めて自由に用いてかまいません。ただし下書き用紙も提出すること。

課題1

次の文章を読んで、課題1-1と課題1-2に答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(「土の文明史」David R. Montgomery著 片岡夏実 訳 築地書館 2010年より引用)

課題1-1

なぜ「土壤を保全できなかった文明は寿命を縮める」のか、本文の内容から100字以内で説明しなさい。

課題1-2

土壤が文明の繁栄の基礎であり、その管理の重要性を述べています。現在も世界の人口は増加を続けており、食料を増産する必要があります。下線部に表されるように、資源は有限であることを踏まえ、将来にわたって人口を養い続けるためにはどうすれば良いでしょうか。

あなたの考えを一つ挙げ、その実現可能性と限界について、合計600字以内で論じなさい。

課題 2

あなたの将来に必要な知識や経験の中には、大学の講義や実習では得られないものがあると思います。そのような知識や経験を挙げ、あなたの将来になぜそれらが必要なのかを説明するとともに、大学での4年間の間にどのようにしてそれらを得る予定かを説明しなさい。さらに、大学の講義や実習をどのようなものにすればそれらが得られるかについて、提案をしなさい。字数は全体で800字以内とします。